

(4) 平成28年度の道教委の取組

事業名	概要
指導力向上の取組の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国学力・学習状況調査北海道版結果報告書の作成及び工夫改善 ○ 「学力向上推進研修会」の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 14管内で実施予定 [H27: 14管内] ・ 各小・中学校の学力向上を担当する教諭を対象に全国学力・学習状況調査結果の分析・活用方法等に係る研修会を開催 ○ ほっかいどうチャレンジテスト（年間9回配信予定）
ほっかいどう学力向上推進事業 一層の学力向上が望まれる地域への集中的支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 支援地域・拠点校を指定し、「地域の学力向上支援事業」を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 28市町34校（小23校、中11校）[H26～28（3年間）] ・ 各管内において、一層の学力向上が望まれる地域や学校を支援地域・拠点校として指定 ・ 各支援地域において、実効性のある取組を協議する推進協議会を開催 ・ 指導主事による現状分析や授業改善等のコンサルティング（年6回以上）
小中連携、一貫教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小・中学校間で連携一貫した指導方法や指導体制を工夫改善する「小中連携、一貫教育実践事業」を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 15地域33校 [H26～28（3年間）]
地域一体での学力向上の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「北海道の子どもたちの学力について考える会」の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 14管内で実施予定 [H27: 14管内] ・ 保護者や地域住民、教員等が一堂に会して、学力向上等に成果を上げている市町村や学校の取組を共有し、地域一体となった学力向上の機運を高める「考える会」の開催
小中一貫教育推進事業（国委託事業）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道と市町村が一体となった、小中一貫教育による学校段階間の円滑な接続を目指した先導的な取組に関する調査研究 <ul style="list-style-type: none"> ・ 4市町13校（小6校、中6校、義1校）[H27～H29（3年間）]
子ども未来塾	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域住民の協力により、学習が遅れがちな児童生徒への学習支援を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 54市町村（小164校、中89校、義1校）で実施予定 [H27: 30市町村（小99校、中56校）]
学校サポーター派遣事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市町村に学校サポーターを派遣し、授業以外での学習の時間や機会を確保 [H27: 79市町村で実施 のべ1048名派遣]
学校支援地域本部事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域住民等の参画により、学校の教育活動を支援する仕組み（本部）をつくり、様々な学校支援活動を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 77市町村 [H27: 78市町村]
子どもの生活習慣づくり推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「生活リズムチェックシート」の活用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導者用ハンドブックを活用した講習会の実施 ・ 14管内で実施予定 [H27: 14管内] ○ 「子ども朝活」の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 46市町村で実施 [H27: 40市町村] ・ 長期休業中における子どもの生活習慣の改善を図るプログラムの実施 ○ 「子どもの生活習慣づくり研修会」の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 14管内及び全道研修会を実施予定 [H27: 14管内]
どさんこアウトメディアプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ○ ネット利用も含めた望ましい生活習慣の定着 <ul style="list-style-type: none"> ・ 先進的な実践を普及するフォーラムの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 29会場で実施予定 [H27: 15会場] ・ 高校生生徒会フォーラムの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 道立青少年教育施設3施設で実施 ・ ジュニアサポーター養成研修会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 道立青少年教育施設3施設及び1町で実施予定
子どもの読書活動活性化推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校図書館の活性化及び魅力ある学校図書館づくりのための研修を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 4管内で実施予定 [H27: 5管内] ○ 子ども会と連携し、家庭での読書習慣の定着に向けた講演等を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 5地域で実施予定 [H27: 5地域]

事業名	概要
学校力向上に関する総合実践事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 管理職のリーダーシップの下で包括的な学校改善を推進 ○ 数値目標を設定し、基礎学力保証の取組を実施 ○ 将来のスクールリーダーを継続的に育成する新たな仕組みを構築 <ul style="list-style-type: none"> ・実践指定校23校（14管内全てで実施、近隣校73校、特別連携校22校） 〔H27：19校（14管内全てで実施、近隣校62校、特別連携校19校）〕
教職員定数加配（指導方法工夫改善加配）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国学力・学習状況調査等の各種調査で明らかとなった課題などに対応するため、教育課程や指導方法・指導体制の改善に積極的に取り組む学校に加配措置 <ul style="list-style-type: none"> ・教職員定数加配校 1,012校、1,385名〔H27：1,015校、1,390名〕
授業改善推進チーム活用事業（指導方法工夫改善加配の再掲）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 指定校に1名ずつ配置した授業改善推進教員が、2～3名のチームを組み、1週間を単位として同一の学校に勤務して全学級でチーム・ティーチングを行い、学校全体の授業改善を推進 <ul style="list-style-type: none"> ・授業改善推進教員44名（16市町、16チーム、44校） 〔H27：21名（9市町、8チーム、21校）〕
巡回指導教員活用事業（指導方法工夫改善加配の再掲）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科指導に優れた教員のサポートによる若手教員等への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・巡回指導教員24名（本務校24校、兼務校39校） 〔H27：47名（本務校47校、兼務校83校）〕
退職教員等外部人材活用事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学力向上非常勤講師 210名〔H27：266名〕 ○ 小学校外国語活動における社会人等外部人材 69名〔H27：72名〕
北海道学力向上Webシステム	<ul style="list-style-type: none"> ○ Webサイトを活用して、ほっかいどうチャレンジテストを配信するとともに、採点結果の分析集計を行うシステムを運用 <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年9月から運用を開始し、H28は9回配信予定 ・各学校が採点結果を校務用のパソコンで入力すると、学校の平均正答率が表示されるほか、全道、管内との比較が可能 ・正答率が低い問題には、補充的な指導のための「サポート問題」を配信 ○ 市町村教委や学校で、学力調査の主要なデータを分析・作成できる「分析ツール北海道版」の配信
「新たなミッションを担う事務職員」加配	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教員の事務負担軽減、地域連携や学校間連携の充実を担う事務職員を配置し、学校力をアップ <ul style="list-style-type: none"> ・加配校83校、83名〔H27：加配校83校、84名〕
指導主事の学校訪問による学校教育指導	<ul style="list-style-type: none"> ○ 複数回実施 <ul style="list-style-type: none"> ・おおむね一校3回実施予定
公立小中学校教職員広域人事	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平均年齢の高い管内と平均年齢の低い地域を有する管内との間で教職員の広域人事（原則3年間勤務）を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・32名〔H27：36名〕
子どもと向き合う時間の確保	<ul style="list-style-type: none"> ○ 北海道共同利用型校務支援システムを全道に普及 <ul style="list-style-type: none"> ・全道共通のシステムを導入することにより、校務の標準化を推進するとともに、教員の業務負担の軽減を実現し、生み出された時間を教材研究や子どもと向き合う時間にあて、教育の質の向上を図る ・39自治体 197校〔H27：36自治体 119校〕
コミュニティ・スクール	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学校運営協議会」を設置し、保護者や地域住民の参画により地域とともにある学校づくりを推進 <ul style="list-style-type: none"> ・道内の指定状況 小41校、中19校（H28.4.1現在） ・文部科学省指定事業の実施 28市町村〔H27：15市町村〕 ・コミュニティ・スクール導入に向けた制度等説明会等の実施 ・14管内全てで実施予定〔H27：14会場〕